

# 景況・経営動向調査結果

平成21年度 第1四半期（4～6月）

## 目 的

長崎市内の景況及び長崎商工会議所会員事業所の経営動向・業況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

## 調査対象

本所会員事業所のうち、5産業（建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業）400社  
（回答187社、回収率46.8%）

業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

## 調査期間

平成21年6月15日～6月26日

## 調査方法

郵送によるアンケート方式

## 分析方法

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行った

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 従業員20人以下、商業・サービス業 従業員5人以下



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

業界の景気動向（景況感）

4～6月期実績は、非製造業で大幅なマイナス  
7～9月期の見通しは、製造業で悪化、非製造業で改善見込み

業界の景気動向（景況感）の調査結果をみると、今期実績は非製造業が全体を引き下げる形となり全産業ベースで 52.8 となった。

一方7～9月期の見通しは、今期実績と比較して製造業で7.3ポイントの悪化、非製造業では11.7ポイントの改善見込みとなり、全産業ベースでは9.6ポイント改善し 43.2となる見込み。

会員事業所の業況

4～6月期実績は、製造業と非製造業で14.3ポイントもの格差  
7～9月期の見通しは一転、製造業で悪化、非製造業で改善見込み

売上・生産額	今期実績	44.4	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み。
利益・採算面	今期実績	37.1	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み。
資金繰り	今期実績	25.3	来期は製造業で悪化、非製造業はほぼ横ばい。
設備投資	今期実績	26.3	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み。
雇用状況	今期実績	7.2	来期は小売業以外で過剰感が強まる。
経営上の問題点	ほとんどの業種で「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」が1位。		

産業天気図 自社業況の総合判断：前年同月比

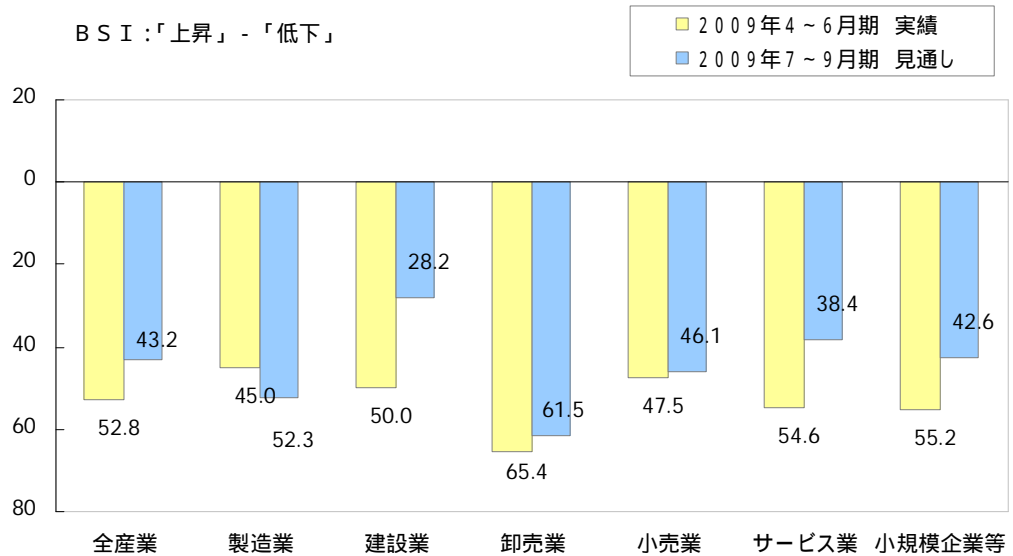
	2009年4～6月期 実績		2009年7～9月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 37.7		▲ 35.1
製造業		▲ 25.0		▲ 42.1
非製造業		▲ 39.3		▲ 34.1
建設業		▲ 50.0		▲ 20.0
卸売業		▲ 56.0		▲ 44.0
小売業		▲ 19.5		▲ 35.0
サービス業		▲ 40.6		▲ 36.5
小規模企業等		▲ 38.9		▲ 34.0

- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上 - 100
	25以上 - 50未満
	0以上 - 25未満
	25以上 - 0未満
	50以上 - 25未満
	100 - 50未満

前年同期（2008年4～6月期）と比較して

2009年4～6月期 実績	2009年7～9月期 見通し
全産業 52.8	全産業 43.2
<p>製造業は 45.0、非製造業では 53.7となり、非製造業が全体を引き上げる形となった。非製造業を業種別にみると、卸売業が 65.4とマイナス幅が最も大きく、小売業が 47.5と他業種に比べて小幅なマイナス実績となった。</p> <p>また、小規模企業等は 55.2となった。</p>	<p>製造業は 52.3と今期実績に比べてマイナス幅が拡大する一方、非製造業では 42.0と11.7ポイントの改善が見込まれており、非製造業が全体を押し上げる形でマイナス幅が縮小する見通しとなった。</p> <p>また、小規模企業等でも 42.6と今期と比べて12.6ポイント改善する見込みとなった。</p>

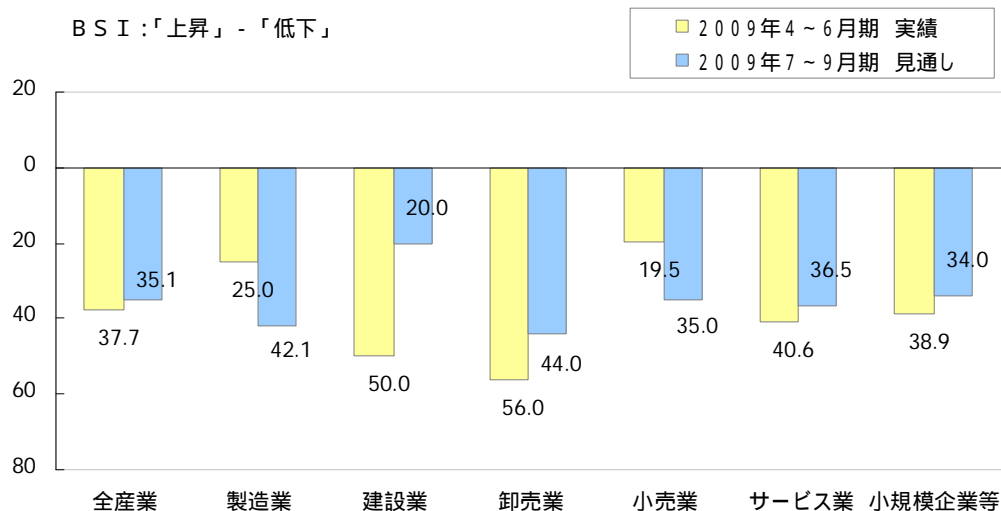


前期（2009年1～3月期）と比較して

2009年4～6月期 実績	BSI：「上昇」 - 「低下」																
全産業 38.8	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>2009年4～6月期 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全産業</td> <td>38.8</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>28.6</td> </tr> <tr> <td>建設業</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>卸売業</td> <td>44.0</td> </tr> <tr> <td>小売業</td> <td>37.5</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>35.4</td> </tr> <tr> <td>小規模企業等</td> <td>41.3</td> </tr> </tbody> </table>	業種	2009年4～6月期 実績	全産業	38.8	製造業	28.6	建設業	50.0	卸売業	44.0	小売業	37.5	サービス業	35.4	小規模企業等	41.3
業種	2009年4～6月期 実績																
全産業	38.8																
製造業	28.6																
建設業	50.0																
卸売業	44.0																
小売業	37.5																
サービス業	35.4																
小規模企業等	41.3																
<p>製造業は 28.6、非製造業では 40.1となり、製造業と非製造業とでは10ポイント以上の開きがあった。非製造業を業種別にみると、建設業が 50.0と最も大幅なマイナス実績となり、サービス業が 35.4と他業種に比べて最も小幅なマイナス実績となった。</p> <p>また、小規模企業等は 41.3となった。</p>																	

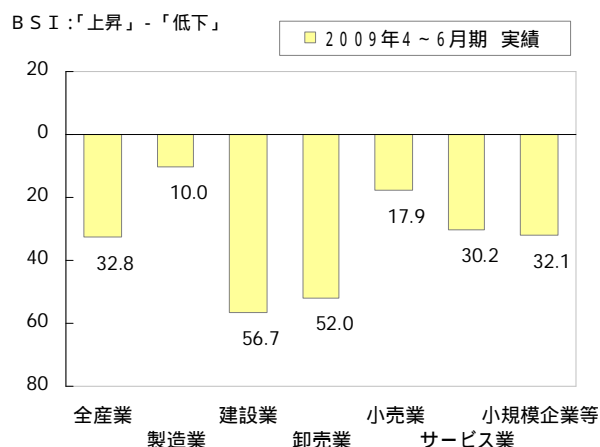
前年同期（2008年4～6月期）と比較して

2009年4～6月期 実績	2009年7～9月期 見通し
全産業 37.7	全産業 35.1
<p>製造業は 25.0、非製造業では 39.3となり製造業と比べて14.3ポイントもの大きな格差があった。非製造業を業種別にみると、建設業は 50.0、卸売業 56.0、小売業 19.5、サービス業 40.6となり、卸売業が最も大幅なマイナス実績となった。最もマイナス幅の小さかった小売業は、製造業と比べても小幅なマイナス実績となった。</p> <p>また、小規模企業等は 38.9となった。</p>	<p>製造業は 42.1と今期実績に比べて17.1ポイントも大幅に悪化する一方、非製造業では 34.1と5.2ポイントの改善が見込まれている。全産業ベースでは2.6ポイントの改善見通しとなった。</p> <p>また、小規模企業等は 34.0と今期と比べてマイナス幅が4.9ポイント縮小する見込みとなった。</p>



前期（2009年1～3月期）と比較して

2009年4～6月期 実績
全産業 32.8
<p>製造業は 10.0、非製造業では 35.7となり、製造業と非製造業とでは25.7ポイントもの大きな格差があった。非製造業を業種別にみると、建設業が 56.7と最も大幅なマイナス実績となり、小売業が 17.9と他業種に比べて最も小幅なマイナス実績となった。</p> <p>また、小規模企業等は 32.1となり、全体を0.7ポイント上回った。</p>

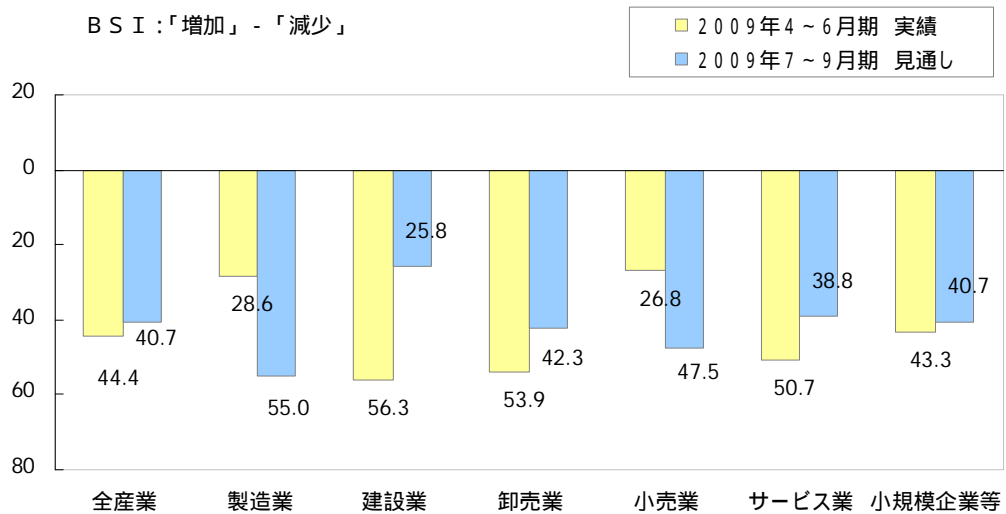


### 3 売上・生産額

#### 前年同期（2008年4～6月期）と比較して

2009年4～6月期 実績	2009年7～9月期 見通し
全産業 44.4	全産業 40.7
<p>製造業は 28.6、非製造業では 46.4 となり、非製造業が全体を引き下げる形となった。非製造業を業種別にみると、建設業・卸売業・サービス業が 50.0 を下回る中、小売業が 26.8 と最も小幅なマイナス実績となり、製造業と比べてもマイナス幅が小さい結果となった。</p> <p>また、小規模企業等は 43.3 であり、僅かながら全体よりも小幅なマイナス実績となった。</p>	<p>製造業は 55.0 と今期実績に比べて 26.4 ポイントも大幅に悪化する一方、非製造業では 39.0 と 7.4 ポイントの改善が見込まれている。中でも建設業では 25.8 と今期実績から 30.5 ポイント改善の見込み。全産業ベースでは 3.7 ポイントの改善見通しとなった。</p> <p>また、小規模企業等でも 40.7 と今期と比べて 2.6 ポイントの上昇となった。</p>

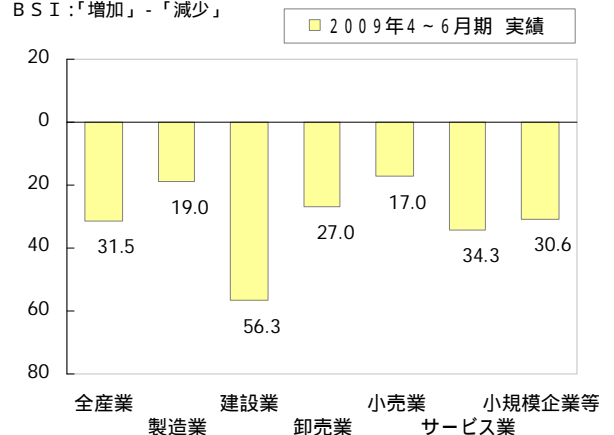
B S I : 「増加」 - 「減少」



#### 前期（2009年1～3月期）と比較して

2009年4～6月期 実績
全産業 31.5
<p>製造業は 19.0、非製造業では 33.2 となり、製造業と非製造業とでは 14.2 ポイントの開きとなった。非製造業を業種別にみると、建設業が 56.3 と最も大幅なマイナス実績となり、次にマイナス幅が大きかったサービス業の 34.3 と比べても 22 ポイントの大きな差がついた。</p> <p>また、小規模企業等は 30.6 であり、全体とほぼ同じ水準となった。</p>

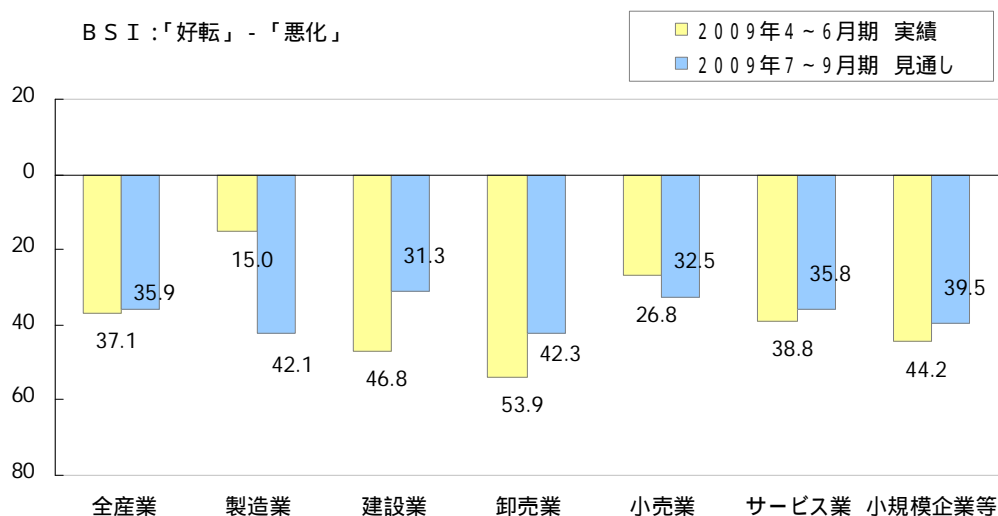
B S I : 「増加」 - 「減少」



前年同期（2008年4～6月期）と比較して

2009年4～6月期 実績	2009年7～9月期 見通し
全産業 37.1	全産業 35.9
<p>製造業は 15.0、非製造業では 39.8となり製造業と比べて24.8ポイントもの大きな開きがあった。非製造業を業種別にみると、卸売業が 53.9とマイナス幅が最も大きく、小売業が 26.8と他業種に比べて最も小幅なマイナス実績となった。</p> <p>また、小規模企業等は 44.2であり、全体よりも厳しい状況がうかがえる結果となった。</p>	<p>製造業は 42.1と今期実績に比べて27.1ポイントもの大幅悪化となる一方、非製造業では 35.2と4.6ポイントの改善が見込まれている。全産業ベースでは1.2ポイントの改善見込みとなった。</p> <p>また、小規模企業等は 39.5と今期と比べて4.7ポイント改善する見込み。</p>

B S I : 「好転」 - 「悪化」

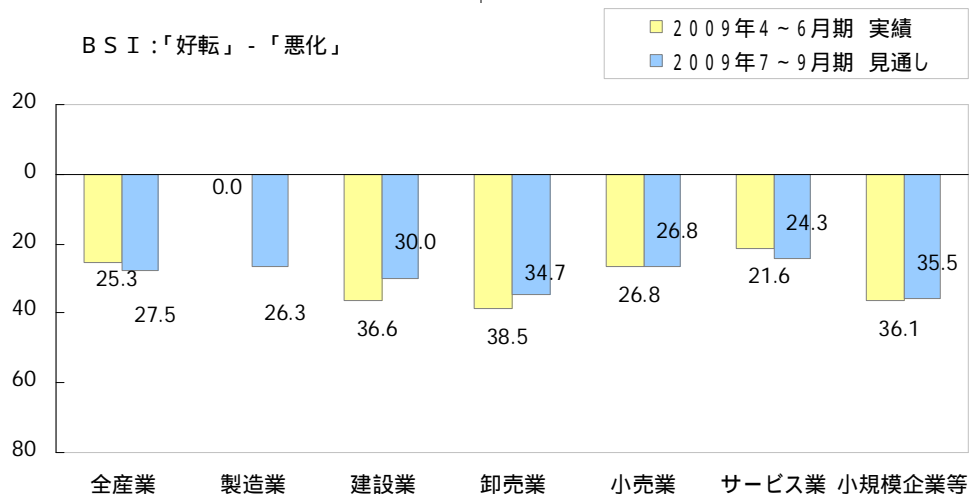


前期（2009年1～3月期）と比較して

2009年4～6月期 実績	B S I : 「好転」 - 「悪化」
全産業 35.7	
<p>製造業は 20.0、非製造業では 37.6となり、製造業と非製造業とでは17.6ポイントの開きとなった。非製造業を業種別にみると、建設業・卸売業・サービス業が 40.0を下回る中、小売業が 24.4と最も小幅なマイナス実績となった。</p> <p>また、小規模企業等は 36.9であり、全体より若干マイナス幅が大きい結果となった。</p>	

前年同期（2008年4～6月期）と比較して

2009年4～6月期 実績	2009年7～9月期 見通し
全産業 25.3	全産業 27.5
<p>製造業は0.0、非製造業では28.4となり製造業と比べて大きなマイナス実績となった。非製造業を業種別にみると、卸売業が38.5と最も大きなマイナス幅となり、サービス業が21.6と他業種に比べて最も小幅なマイナス実績となった。</p> <p>また、小規模企業等は36.1となり、全体と比べて厳しい状況が浮き彫りとなった。</p>	<p>製造業は26.3と今期実績に比べて急激に悪化する一方、非製造業は27.6とほぼ横ばいの状況が続き、全産業ベースでは2.2ポイントの悪化が見込まれる。</p> <p>また、小規模企業等は35.5と今期と比べて0.6ポイント改善する見込み。</p>



前期（2009年1～3月期）と比較して

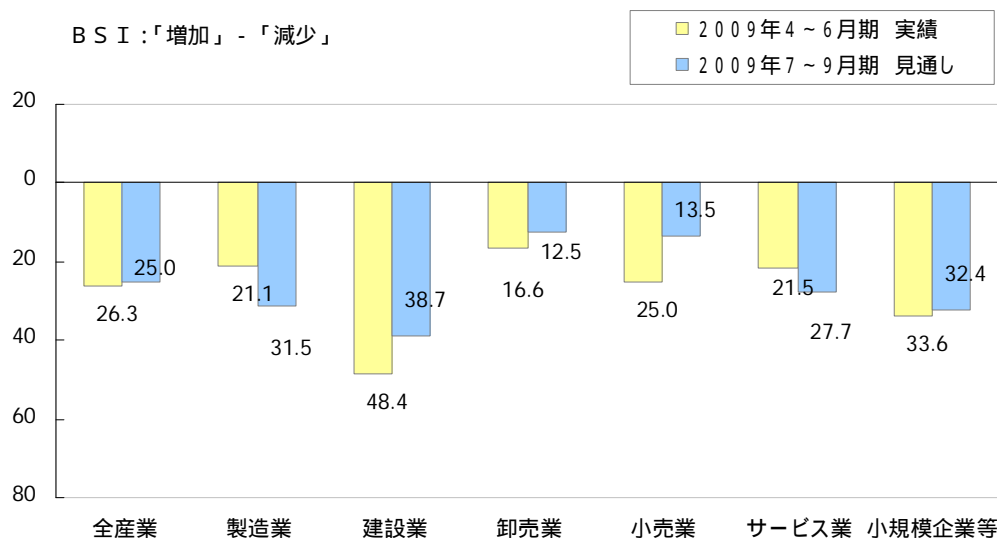
2009年4～6月期 実績	BSI:「好転」-「悪化」																
全産業 24.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>2009年4～6月期 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全産業</td> <td>24.1</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>建設業</td> <td>36.6</td> </tr> <tr> <td>卸売業</td> <td>34.7</td> </tr> <tr> <td>小売業</td> <td>22.0</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>21.2</td> </tr> <tr> <td>小規模企業等</td> <td>32.4</td> </tr> </tbody> </table>	業種	2009年4～6月期 実績	全産業	24.1	製造業	5.0	建設業	36.6	卸売業	34.7	小売業	22.0	サービス業	21.2	小規模企業等	32.4
業種	2009年4～6月期 実績																
全産業	24.1																
製造業	5.0																
建設業	36.6																
卸売業	34.7																
小売業	22.0																
サービス業	21.2																
小規模企業等	32.4																
<p>製造業は5.0、非製造業では26.4となり、製造業と非製造業とでは21.4ポイントの大きな開きとなった。非製造業を業種別にみると、建設業が36.6と最も大きなマイナス幅となり、サービス業が21.2と他業種に比べて小幅なマイナス実績となった。</p> <p>また、小規模企業等は32.4となり、全体と比べて厳しい結果となった。</p>																	

6 設備投資

前年同期（2008年4～6月期）と比較して

2009年4～6月期 実績	2009年7～9月期 見通し
全産業 26.3	全産業 25.0
<p>製造業は 21.1、非製造業では 26.9となった。非製造業を業種別にみると、建設業が 48.4と最も大きなマイナス幅となり、卸売業が 16.6と最も小幅なマイナス実績となった。</p> <p>また、小規模企業等は 33.6となり、全体と比べて厳しい状況がうかがえる。</p>	<p>製造業は 31.5と今期実績に比べて10.4ポイントの大幅マイナスとなる一方、非製造業では 24.2と2.7ポイントの改善が見込まれおり、全産業ベースでも1.3ポイントと僅かながら改善する見通しとなった。</p> <p>また、小規模企業等でも 32.4と今期と比べて1.2ポイントの改善が見込まれているが、全体と比較すると引き続き低水準で推移する見通し。</p>

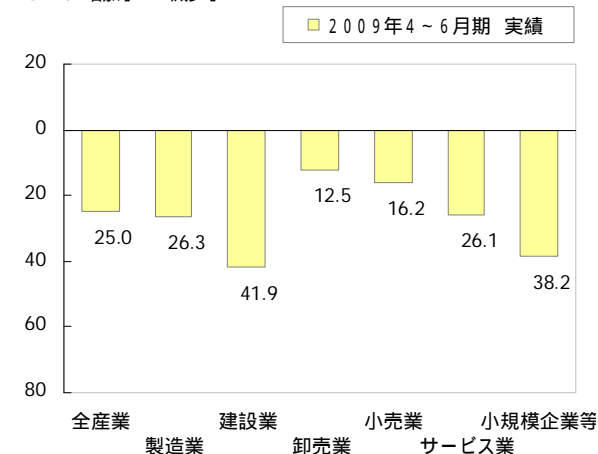
B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2009年1～3月期）と比較して

2009年4～6月期 実績
全産業 25.0
<p>製造業は 26.3、非製造業では 24.8となった。非製造業を業種別にみると、建設業が 41.9と最も大きなマイナス幅となり、次にマイナス幅が大きかったサービス業の 26.1と比べても15.8ポイントの開きがあった。</p> <p>また、小規模企業等は 38.2となり、全体と比べて厳しい結果となった。</p>

B S I : 「増加」 - 「減少」

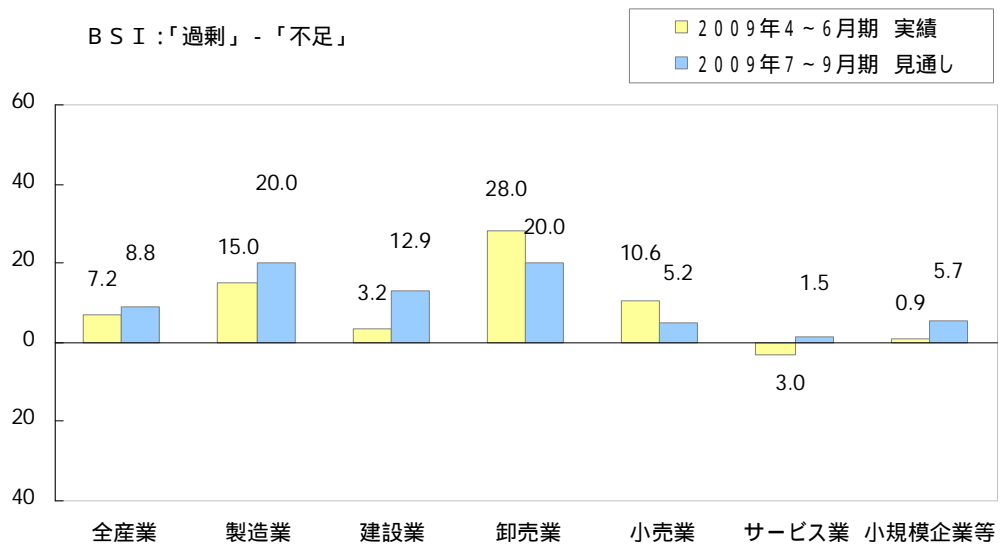




7 雇用状況

前年同期（2008年4～6月期）と比較して

2009年4～6月期 実績 全産業 7.2	2009年7～9月期 見通し 全産業 8.8
<p>製造業は15.0、非製造業では6.2となり、非製造業と比べて製造業で「過剰」とする割合が大きく、「不足」と回答した企業はなかった。非製造業を業種別にみると、小売業で「適正」とする割合が最も高く、サービス業では唯一「不足」とする割合が「過剰」を上回った。</p> <p>また、小規模企業等は0.9となり、「過剰」と「不足」の割合がほぼ同じ結果となった。</p>	<p>製造業は今期実績に比べて「過剰」とする割合がさらに増加する見込み。非製造業でも「過剰」が1.3ポイント増加し、サービス業でも「過剰」に転じる見通しとなった。全産業ベースでも「過剰」とする割合が1.6ポイント増となり、過剰感が見られる見通しとなった。</p> <p>また、小規模企業等でも5.7と今期と比べて4.8ポイント上昇し、過剰感が増す見込み。</p>



前期（2009年1～3月期）と比較して

2009年4～6月期 実績 全産業 6.1	B S I : 「過剰」 - 「不足」																
<p>製造業は10.0、非製造業では5.6となり、非製造業と比べて製造業で「過剰」とする割合が大きかった。非製造業を業種別にみると、小売業で「適正」とする割合が最も高く、サービス業では唯一「不足」とする割合が「過剰」を上回った。</p> <p>また、小規模企業等は0.9となり、「過剰」と「不足」の割合がほぼ同じ結果となった。</p>	<table border="1"> <caption>B S I : 「過剰」 - 「不足」</caption> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>2009年4～6月期 実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全産業</td> <td>6.1</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>建設業</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>卸売業</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>小売業</td> <td>10.6</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>-1.6</td> </tr> <tr> <td>小規模企業等</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table>	業種	2009年4～6月期 実績	全産業	6.1	製造業	10.0	建設業	3.3	卸売業	20.0	小売業	10.6	サービス業	-1.6	小規模企業等	0.9
業種	2009年4～6月期 実績																
全産業	6.1																
製造業	10.0																
建設業	3.3																
卸売業	20.0																
小売業	10.6																
サービス業	-1.6																
小規模企業等	0.9																

## 8

# 経営上の問題点（複数回答）

全産業ベースで見ると、第1位は「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」（55.9%）、第2位は「受注、販売競争の激化」（48.0%）、第3位は「営業利益の低下」（47.5%）となった。これら3項目はほとんどの業種でトップ3に入っており、中でも「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」は建設業・卸売業以外の業種で第1位となったことから、最も重要な問題点であるといえる。

その他の特徴的な傾向として、「同業者、類似店、大型店の進出」が小売業で第2位となった。また、「需要の停滞」がサービス業で第2位、製造業で第3位となった。

